

## 2016 年度春日部市民文化講座(第 2 回)

# 第 21 回 戦国武将の癒しとしての茶の湯

講 師：高橋敏夫 師

ゲスト：増村紀一郎 氏

昔から医学は「アート・オブ・メディシン」と呼ばれてきました。そんな医療の現場に、彫刻や絵画など心を癒やすアートの配置を監修された増村紀一郎様に、新装なった春日部市医療センターのアートについてお話を伺いたいと思います。

日 時：2016 年 9 月 28 日(水) 午前 10 時～12 時

会 場：ぽぽら春日部(ふれあいキューブ市民活動センター4 階、会議室 1)

定 員：30 名

(主催者にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。)

会 費：1000 円 抹茶とお菓子付き

主 催：ボーイスカウト春日部 10 団

春日部市中央 1-51-7(春日部福音自由教会内)

担当 山田豊

電話：048-735-4765(火～土、午前 9 時～午後 5 時) FAX：048-735-4726

Eメール：info@kefc.jp



講師

**高橋敏夫**(たかはしとしお)

1940 年 9 月 15 日、長野県、安曇野市(旧穂高町)生まれ。

1969 年春日部福音自由教会牧師に就任。

幼児、青少年の育成のために、「めぐみ幼稚園」「ボーイスカウト春日部 10 団」を設立、青年会議所、PTA で活動。高山右近の研究者として、聖書と茶の湯を中心とした文化講演やセミナーを、神学校、大学、カトリック教会などで行っている。

表千家教授、在主義庵主、ボーイスカウト春日部 10 団団委員長

著書：「茶の湯の心で聖書を読めば」

「高山右近を追い」(いのちのことば社)



ゲスト

**増村紀一郎**(ますむらきいちろう)

1941 年 12 月 1 日、漆芸家の父、益城(ましき)氏の長男として東京都豊島区に生まれる。

東京藝術大学大学院を修了し、1997 年東京藝術大学美術部教授へ就任するとともに、正倉院宝物「御袈裟箱(おんけさのはこ)第一号」を復元する。

2002 年には紫綬褒章を受章し、2008 年に「きゅう漆」の分野で親子 2 代にわたり、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。

春日部市に 20 数年在住し、きゅう漆はもちろん、市の芸術文化の振興に多大なる尽力をしている。2008 年 10 月 1 日に春日部市市民栄誉賞を受賞。

現在

重要無形文化財保持者(人間国宝) / 東京藝術大学名誉教授 / 埼玉県春日部市親善大使